

江戸時代の人も 悩んでいました 五十肩。



五十肩という言葉は、江戸時代、今から約200年前に太田全斎(おおたぜんさい)が編集した「俚言集覧(りげんしゅうらん)」に記されています。別名、長命病ともいわれ、江戸時代の人も悩ませていた病気なのです。当時は長命病だったかもしれませんが、現代では働き盛りの病気ということになります。

突然肩の激しい痛みで襲われるこの五十肩、正式な病名を肩関節周囲炎といい、老化によって筋肉などが衰え、骨関節の周りに炎症が起きている状態を言います。

五十肩には、激しい痛みを伴う急性期、動かすと痛い慢性期、痛みのない回復期、大きくわけて3つの時期があり、それぞれに治療法も異なります。間違った治療法は、炎症がおさまっても腕が自由に動かせなくなるなど、後遺症が残る原因にもなります。また、五十肩だと思っただけでも、実はほかの病気が原因になっている場合も少なくありません。

肩の痛み・しびれは、専門医である整形外科へ。

整形外科医は、肩はもちろん、全身の骨・関節・筋肉・脊椎などの専門医です。
早く痛みやしびれを取り除き、健康的で楽しく生きるために、整形外科で正しい診療を受けましょう。

私たちは「運動器の10年」世界運動を応援しています。

かかりつけの整形外科はありますか？

東京都臨床整形外科医会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 東京都医師会館305号 <http://www.jcoa.gr.jp/tcoa>

協賛 旭化成ファーマ株式会社 エーザイ株式会社 科研製薬株式会社 三共株式会社
大正富山医薬品株式会社 田辺製薬株式会社 帝人ファーマ株式会社 久光製薬株式会社